

積ト臺帳面積ノ關係ノコトデスガ、是ハ農商務省ニ於テハ此手續キト云フモノハ出願者ニ向テ注意ヲ與ヘル位ノ今マデ方針ニナッテ居ルノデスカ、或ハ其實測シテ置クコトヲ必要トスルコトヲ、今後事實行ハセルニ付テハ何等カ御考ガアルノデアリマスカ、放任シテ置クコトヲ御考デスカ

○政府委員(下岡忠治君) 現行ノ規定ニ依リマスト、唯面積ト書イテアリマスト、面積等ト書イテアリマスカラ、之ヲ法律的ニ解釋スレバ臺帳面積ト云フヤウニ解釋スルノガ當然ト思ヒマス、所ガ面積等トアリマスカラ、臺帳面積ト解釋シテモ實測面積ト解釋シテモ差支ナイヤウニナッテ居リマス、而シテ其土地ノ狀況ニ依リマシテハ臺帳面積ト實測面積トハ非常ニ違フカ錯雜シテ居ルヤウナ場合ナドハ、他日ノ紛議ヲ防グタメニ成ルベク實測シテ置イタ方が宜カラウ、併シ極僅カナモノハサウ云フ手數ヲ避ケタ方が宜カラウト申シテモ、其方針ニ極メテ居ルト云フ譯ハアリマセヌガ、個々當テ見デドウモ違フコトヲ場合ニハ實測ヲヤッタ方が宜カラウト云フ 注意ヲ與ヘルト云フコトガ、必要デアラウト思ヒマス

○福井準造君 昨日モ御尋シマシタガ、今政府委員ノ御説明ニ依ルト多少ノ缺點ハアルガ大シタコトハナイ、又多少減收ノトコロモアルガソレモ大シタコトハナイ、最早耕地整理ノ效果ヲ疑ウコトハナイト言ハレルノデスガ、實際吾々ノ知ルコロニ依リマスト、ドウモ設計ノ誤リ其他ノ關係ニ依ッテ耕地整理ノ效果ヲ疑ハレルヤウナコトガ、大變アルヤウニ考ヘルノデアリマス、イロ／＼ノ事情モアリマセウガ、歸スルトコロ設計ガ其當ヲ得ナカッタ技術者ガ其當ヲ得ナカッタ設計ヲシタト云フヤウナコトガ、一ノ原因ニナッテ居ルヤウニ考ヘマス、其技術者ハ昨日ノ御話デハ相當優遇シテ居ルカラ相當ノ人モ居ルト云フ御話デシタガ、私ノ知ルトコロデハ先ヅ農科大學ヲ卒業シテ所謂國本培養費ノ一部ヲ割テ、農商務省ハ高等技術者養成所ト云フヤウナ所ハ、六個月ホド御入レニナッテ、ソレニ對シテ八十圓カ幾ラカノ報酬ヲオヤリニナルト云フコトデ、サウシテ二個年ノ義務ヲ負ハセテ居ルト云フコトヲ聞キマスガ、今マデ農業上ノ専攻ヲシテ居タ人が、六箇月ノ間農業土木耕地整理ヲアルニハ土木上ノ知識ガ要ルノデ、其農業土木ヲ六箇月ノ間ニ講習シテ、ソレヲ出タ人ハ私ノ知リ居ル範圍ニ於テハ、普通ノ農學士ヨリ給料ガ僅カ百圓多イト云フコトデアル、ソレハ人ニ依テモ違ヒマセウガ、其百圓多イタメニ最初ハ六箇月ノ講習ニ好シテ行ツタヤウナ譯デアリマシタガ、愈耕地整理ノ技術員トナッテ地方ニ出ルト、本來ガ土木者トナッテ働カウト云フ人デナイカラ、仕事ニ趣味ヲ持タナイタメニ大ニ耕地整理ノ技術者タルヲ嫌ウト云フヤウナ弊ガアルヤウニ思フノデアリマス、ソレガ爲ニ外ニ口ノナイ者ハ兎ニ角 多少手腕ノアル者ハ他ニ轉ジテ、或ハ縣ノ試驗場トカ農學校ナドニ行クト云フヤウニ、一年二年ノ間ヲ經テ、其土地ノ事情ニ馴レカ馴レヌ中ニ他ニ轉ズル途ヲ求メル、實際轉ジタ者モ幾ラモアルヤウデアル、折角其地方ノ狀態ヤ地勢等ニ明カナナッテ、實際ノ測量設計ヲヤレル時分ニハ既ニ其人ガ居ナイ、今マデ事情モ能ク分ラズニ設計ヲ仕掛タトコロデ逃ゲル、其後デヤッタ者ハ出ヤウト思ツタ水ガ出ナクナッタリ、或ハ濕田ニナッタリ乾田ニナッタト云フヤウナ奇態ナ結果ヲ生ズルコトガアルヤウニ承知シテ居ル、ソレデ技術者ノ養成保護或ハ優遇ト云フコトニ對シテハ政府ハ別ニ御考ガアルカ、或ハ現今ノ程度デ十分ニ足ルト云フ御考カ、此技術者ノ良否ニ

依ッテ前途大變ニ結果ガ違フト思ヒマスカラ、此點ヲ諄イヤウデアリマスガモウ一ツ承リタイト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマス、昨日モ申シマシタ通りニ御尋ノ通り耕地整理事業ヲ進メテ好結果ヲ擧ゲルニハ技術者ニ餘程重キヲ措カナケレバナラヌト云フコトハ、アナタノ御考ト政府ノ考ト同様デゴザイマス、成程或方面等ニ於キマシテ技術者ノ逃ゲルト云フヤウナ傾ノアルコトモ聞イテ居リマス、十分ニ經驗ヲ履マシテ相當ニ仕事ガ出來ルヤウニナッテカラ逃ゲラレルト云フコトハ大變ナ損デアリマスカラ、成ルベク一地方ニ居リ且ツ一地方ニ居ルニシテモ耕地整理事業ヲ擔當シタ以上ハ、繼續シテ二十年四十年ト續ク事業アル以上、何處マデモ繼續シテ盡シテ貰ヒタイト云フ考ヲ有ッテ居リマスカラ、成ルベク其位地ヲ優遇シテ其方ニ献身的ニ仕事ヲシテ行クヤウデシテ遣リタイト云フ考ヲ有シテ居リマスノミナラズ、講習ト云フ事ニ付キマシテハ、現在繼續シテヤッテ居リマスガ、少シ今度ハ方法ヲ變ヘテヤルカ愈ヤッテ見テ、マダ先キノ長イコトデアリマスカラ、愈ヤッテ見テ適當ナル講習ヲ力メテ行カナケレバナラヌト云フ考ハ、何處マデモ繼續シテ行ク積リデアリマス、要スルニ技術員ノ養成ハ、其人ヲシテ安シテ其位地ニ居ッテ、此事業ニ力ヲ盡サスト云フコトデ、之ニ餘程重キヲ置クベキ事柄ト當局者モ見テ居リマスカラ、御希望ニ能ク合ッテ行カウト云フコトニ付テハ、是非共何處マデモ進メル積リデゴザイマス

○福井準造君 チョット簡短ニ伺ヒマスガ、技術者ハ多分去年マデ三回ノ講習ヲ經タト思ヒマスガ、サウデスカ

○政府委員(下岡忠治君) 二十九年カラ始マッテ二度デス

○福井準造君 サウスルト他府縣ノ技師トカ技手トカ云フノデ、他府縣カラ出タ者ハ別デ農商務省ガ 前ノ農學士ナリガ卒業シテ直ニ其講習生ニシタト云フヤウナ技術者ダケノコトト聞キマスガ、其技術者ハ第一回ノ技術者ガ幾人、今耕地整理ノ事業ヲヤッテ居リマスカ、ソレカラ第一期ノ人デモ宜イガ、一ツ講習ヲ終ヘテ直ニ或縣ニ就任スル、其就任シテ一ツ處ニ居ル者ハ幾人アルカ、ソレヲチョット聞キタイト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 後テ取調ベテ御答致シマス

○古野孫太郎君 私ハ耕地ノ獎勵ノ事ニ付テ御尋フシタイ、國家カラ府縣ニ對シテ此補助ヲスルノハ例年四月即チ府縣ノ年度開始ノ月位ニ後レテ補助ノ方法ヲ御示シニナルヤウナ實例ニナッテ居リマス、ソレガ爲メニ府縣デアッテ見ルト殊更ニ追加豫算ヲ發布シテ、俄ニ補助ヲ受ケラレルヤウナ方法ヲ講ズル、現ニ四十一年度ノ補助費ニシマシテモ、四十一年四月ノ農商務省令第三號ヲ漸ク規定ニナッタト云フ譯、斯ノ如ク年度開始後ニナッテ始メテ獎勵ノ方法ヲ示サル、ト云フコトニナルト、府縣ニ於テハドウモ一夜造リノ考案ヲ以テ其補助ヲ受ケルト云フヤウナコトヲ講ズルト云フ事實デ、甚ダ成績ガ面白クナイ、デ之ヲ前以テ一定ノ方法ヲ極メテ置テ、例年ソレニ依テ補助ヲスルコトニサレマシタナラバ、府縣ニ於テモ十月ナリ十一月ナリノ縣會デモ終ヘル前カラ豫メ翌年度ノコトヲ定メテ置クト云フヤウナ便利モアル、餘程都合ガ好カラウト思ヒマスケレドモ、今マデノ例ハ凡テ年度開始後初メテ御示シニナル、之モ一方カラ考ヘマスト帝國政府ノ豫算ガ漸ク二月デ定マルト云フノデ、全ク其費用ガ政府デ定マラネバ遣レヌト云フコトデアレバ仕方ガナイガ、今マデハ大概例年五十萬圓内外ノ補助費ヲ遣ラレテ居ル、サウスルト

豫メ其方法ヲ定メテ一時限リノ獎勵デナクシテ、數年ニ涉ッテ働カル、ヤウナ規定ヲ御
設ケニナルト、餘程都合ガ好カラウト思ヒマス、サウナイノハドウ云フ譯デアルカ、ソレヲ一ツ
承リタイ、ソレカラ又此方法モ今マデノハニ様ニナッテ居ッテ、一ツハ設計、調査、工事監
督ト云フヤウナモノニ對スル二分の一カノ補助、ソレカラ他ノ一ツハ耕地整理ノ附屬事
業即チ溜池ト云フヤウナモノ、建築費用ニ對シテ三分の一カラ補助スル、デ是ハ
場合ニ依テハ整理ヲシタ土地ニ直接其出來方ニ依テ幾分ノ補助ヲスルト云フヤウニシタ
ラ、餘程當事者ニ於テモ便利デアラウト思ヒマス、併シハ金額ノ方ニ極リガアルカラサ
ウ云フコトニナレバ初メ申シマシタコロノ二様ノ補助ノ方ヲ幾分減ズル、ソチヲニデモ
持ッテ行クト云フコトニナラズバ、大体ガ五十萬圓ナラ五十萬圓ニ定メテ居ルノデアルカラ
仕方ガアルマイ、サウ云フ分配ハ此後モ御遺リニナラヌ趣意デ直接其整理事業ガ出來ルナ
ラバ、出來タモノニ對シテ補助スルト云フコトハ出來ナイモノデアルカドウデアルカ、此點モ
御伺ヒ致シタイ、ソレカラ是ハ少シ趣ガ違ヒマスガ、昨日ノ政府委員ノ御答ニ依リマスル
ト、整理事業ノ終了シタ場合ハ組合ハ解散スルガ便利デアル、無論解散スルガ便利
デアル、所ガ事業ニ附帶シタコロノ假令バ營造物ノ如キ即チ溜池デアルトカ云フモノ、
將來ノ維持監理ニ關スル事業ト云フモノヲバ、其儘ニ遺スト云フコトハ出來ナイ、誰人カ
ニ之ヲ引繼ガナケレバナラヌ、其引繼グモノハ市町村若クハ水利組合ニ持ッテ行ッテ宜
カラウ、斯ウ云フ御話デ如何ニモ其兆候モ見エル、チヨット見ルト見エマスルガ、別ニ強制
的——強制的ト云フト語弊ガアリマスガ、命令のニ市町村ニヤラセルト云フヤウナ例モア
ルヤウニ見エル、サウシテ見タトキニハ若シ萬一市町村若クハ水利組合ガ之ヲ受ケナイト
云フ場合ニハ、其町村ノ中ノコトデアアルカ決シテ受ケヌト云フコトハアリハシマイケレドモ、
若シ萬一水利組合市町村ト意見ノ合ハナイト云フ場合ニハ、誰ニ引繼グカ、若シ引繼
フ受ケヌトスレバ組合ハ永遠ニ存置シテ置カケレバナラヌト云フ必要ハナイカト云フコトニ
付テ……

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマス、補助ヲ與ヘルニ付テハ兎角時機ガ遅レテ
府縣等ニ於テ追加豫算ヲ出サナケレバナラヌカラ非常ニ困ル、モット早クスル譯ニハ往カナ
イカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ三十九年度ノ折テ初メテヤッタモノデスカラ、勢ヒ追加
豫算ヲ求メテ府縣デヤラナケレバナラヌト云フヤウナ億劫ナ手數ヲ執ラザルヲ得ナイヤウニ
ナッタノハ已ムヲ得ナカッタノデアリマス、其後ハ費用ガ大抵極ッテ居ルモノデスカラ、即チ
耕地整理ノ設計等ニ關スル府縣費ニ對シテ二分の一、ソレカラ工事費ニ對シテハ二
分の一ト云フ金額ヲヤッテ來テ居ルモノデスカラ、爾來ハ餘リ差支ハナクナッテ來テ居ルト
心得テ居リマスルガ、併シ御話ノ通りニ前以テ分ルモノナレバ成ルベク其事ハ府縣ニ宜ク
分ルヤウニシタイト云フノハ、無論地方ノ關係上必要ナコト、思ヒマスケレドモ、出來得
ル限リニ於テハ努メテ前以テ知ラスコトノ出來ル途ハ執リタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、
二分の一三分の一ト申シマシタガ、是ハ斯ウハ限ラレテハ居リマスガ、將來耕地整理ノ
事業ガ大變多クナッテ、府縣ノ費用ノ擴ガルト云フ場合ニハ、果シテ二分の一三分の一ト
云フモノヲ補助スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトハ、事業其者ノ程度ニ依ッテ極メ
モノデスカラ、或ハ二分の一ノモノガ三分の一ニナリ、三分の一ノモノガ四分の一ニナラザルヲ
得ナイヤウナコトニナルカモ知レヌト思ヒマスガ、ケレドモ略ホ推定シテ居ルトコロニ依レバ、

大體是マデ補助シテ居ル歩合デ略々出來サウダト思フテ居リマス、總額ガ五十一萬何千
圓ト括ラレテ居ルケレドモ、追々事業ガ擴張サレテ其補助費ヲモット殖スコトガ出來タ曉
ニハ格別、來年度ノ豫算ハ前年通りデゴザイマスガ、或ハ歩合ヲ減少スルト云フコトモ至
ラザルヲ得ナイヤウナコトガアルカモ知レナイト思ヒマスケレドモ、唯今ノコロデハ前通りノ
コトガ出來ルト推定シテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ耕地整理ヲヤッテ居ルトコロノ事業
者ニ直接補助シテ貰フコトノ途ヲ開ケルコトハ、出來ナイカト云フ御尋デスガ、直接補助
ハ成ルベクヤラナイ積リデアリマス、ト申シマスルノハ府縣費ガ非常ニ嵩ンデ來ルシ、之ニ
對スル補助額ト云フモノガ大イニ増シテ參リマスガ、將來ニ於テ豫算額ヲ殖ヤセバ格
別、今日ノ財政ノ狀態見ルトナカク急ニ此額ヲ殖スコトガ出來ヌトスルト、直接補
助ト云フモノハ餘程アリ難イ、先ツ府縣費ニ對シテ設計費ニ對スル補助ト、ソレカラ工
事費ニ對スル費用補助ト云フ現在ノヤリ方ヲ其儘デ進ンデ行クト云フ考ヲ持ッテ居リマ
ス、ソレカラモウ一ツノ御尋ネハ……

○古野孫太郎君 市町村ニ引繼グト云フコト……

○政府委員(下岡忠治君) 三十九條ニ市町村或ハ水利組合ニ引繼グト云フコト
ヲ書イテアリマスルガ、御尋ノ通りニ市町村若クハ水利組合ニ之ヲ引繼グ場合ガアリ
得ルダラウト云フ想像ガ浮ヒマス、就テハ「特別ノ事情アル場合ヲ除クノ外命令ヲ定ムル
所ニ依リ其ノ事業ヲ云々」斯ウ云フ風ニ書イテ居ルノハ、市町村ト雖モイロく事業ガ
多イカラ道路堤防ナド、イロく出來タモノ、監理等ヲナスコトヲ肯ゼザル場合ガアル
ダラウ、其場合ハ維持監理共必要デアルナラバ、據所ナク耕地整理組合ガ維持シテ行ク
繼續シテ行ク、併シ市町村ガ之ヲ引繼グ得ルニ至ッタナラバ成ルベク早ク引繼グス、斯
ウ云フ立前ニ三十九條ハ拵ヘテ居リマス、據所ナク市町村ガ特別ノ事情ニ依テ引繼
出來ナイト云フ場合ガアリ得ルダラウ、サウ云フ場合ニハ先ツ維持監理トモ必要デアルナ
ラバ、耕地整理組合ハ其儘當分ノ間繼續シテ行ク、或ハ維持監理ノタメニ組合ヲ設
ケルノ必要ガナイト云フナラバ、耕地整理組合ニシテ其時ニ至ッテハ解散シテモ差支ナ
イ、斯ウ云フ積リテ三十九條ハ規定シテアリマス

○加藤正英君 私ハコノラデ大体ノ質問應答ハ止メラレテ、各條ニ付テ質問應答セラ
レンコトヲ望ミマス、是ハ別ニ新法デハナイ今マデアル 改正案デアアルカラ大抵分ッテ居ル、
各條ニ付テモ質問ハ出來マスガ……

○川崎安之助君 唯今大体ノ質問止メルト云フ御話デアリマスガ、私ハ未ダ一度
モ質問シマセヌカラ、尙大体ニ付テチヨット質問シタイ

○委員長(齋藤珪次君) チヨット……ドウデセウ午前中ハ大体ノ質問ヲシテ、午後カラ
各條ト云フコトニシタラ……

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○川崎安之助君 改正案ノ要旨見マスルト、重モニ開墾獎勵ヲスルコトニナッテ居ル
ヤウデアリマス、是ニ付テ私ハ少シ根本的ニ疑ヲ起シタデアリマス、昨日政府委員ノ説明
ニ依リマスルト開墾ノ目的ガ一百萬町歩デアルト云フ御話ノヤウニ聞イタ、サウスルト其
一百萬町歩ノ其上一四十萬町歩ノ耕地整理ヲスルニ對シテ、政府委員ハ昨日殆ド三割
ノ増歩デアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハサウアルトハ思ハレヌ、假リニ一割五歩ト見

テ四十万町歩ニ對シテ殆ド二十万町歩ノ増歩ガアル、サウスルト茲ニ現在ノ耕地整理ノ百八十万ト云フ大ナル増歩ガ出來ル、現今我國ノ農事ノ有様ヲ見ルト、地方ノ農事上ノ勞働者ガ缺乏シテ居ル、是ハ他ニイロ／＼ナ工業ガ發展スルガためニ工事ノ方ヘ勞力ヲ利用セラレテ、農事ノ方ニ於テ大ニ缺乏シテ居ル、故ニ偶々地主ガ小作ノコトニ付テ正當ノ要求ヲスレバ直グニ「ストライキ」ヲ起ス、是ハ決シテ社會主義カラ來タノデモ何デモナイ、唯勞力ノ割合ニ比較シテ農業ヨリモ收益ノ多イ工業ノ方ニ農民ガ向フノデアル、ソレガためニ到ル所小作米ノ收納ノ時ハ紛擾ヲ起スノデアル、是ハ農民ノ勞力缺乏ノ結果ト思フノデアリマス、現ニ東北ニ於テハ苗代ニ對シテハ苗ヲ仕立テラゲケニシテ跡トハ稻ヲ植付ラヌヤウデアルガ、其理由ハ何デアルカト云フト、詰リ田地ガ多過ギテ苗代ハ其儘ニシテ捨テルト云フコトデアッテ、現ニ下岡君ガ前ニ管轄シテ居ラレタ秋田縣一縣下ダケテモ、二千町歩カラアルト云フコトヲ聞及ンデ居ル、假リニ此二千町歩ノモノニ苗ヲ植付ケテ半作取レルトシテモ大變ノ收穫ガ得ラレル、サウ云フヤウナ所ガアルニ拘ラズ、詰リ手ガ廻ラヌためニ捨テ、アル、故ニ茲ニ現在ノ耕地ヨリ殆ド三分ノ一程ノ増歩ガ生ジタ場合ニハ、益々此農民ノ勞力ガ缺乏スルハ當然デアル、サリナガラ一面ニハ我國ノ人口ハ年五十万ツ、殖エテ往クカラ、三十年經ツト千五百万カラ二千万ノ人口ガ殖エルカラ、此位ノ段別ガ殖エテモ差支ナイト云フ御議論モアルカ知レヌ、併シ一方國家ノ大目的タル朝鮮ノ開拓トカ或ハ北海道ノ開拓ノ如キ、ソレガためニ進歩ガ遲々トシテ或ハ其進歩ヲ阻害スルコトガアルヤラウト思フ、唯徒ニ内地ニ對シテ所謂重箱ノ隅ヲ揚子デセ、クルヤウナコトヲシテ、國家ノ大進歩ヲ阻害スルコトガアリハセヌカ、是ハ私ノ議論デアルガ、斯ウ云フ考ヲ私ハ有シテ居ル、是ニ對シテ政府委員ハ如何ナル考ヲ有セラ、カ之ヲ伺ヒタイ、モウ一ツハ斯ノ如ク百二十万町歩ノ増歩ヲ生ジタ場合ニ是ニ作付ケルモノハ多分米作ガ大部分デアラウト思フ、或ハ桑トカ其他ノ物モアルヤラウガ大部分ハ米作ト思フ、假リニ此中百万町歩ニ米ヲ作ルトスルト、千五百万石ノ米ガ殖エテ來ル、又一方耕地整理ヲシテ來タ結果、此表テ見ルト一段歩ニ付三斗ノ增收ト云フコトニナッテ居ル、先刻モ政府委員ガ説明セラレタ如ク殆ド二割ノ增收ト云フコトニナッテ居ル、サウスルト平年作ノ二割ノ增收トシテ是ガ一千万石デアル、ソレニ増歩ノ收穫トヲ加フルト殆ド二千万石カラノ增收ヲ生ズルノデアル、現ニ昨年ノ如ク五千万石ノ米ヲ取ツタノデ平年作ニ比シテ僅カ三四百万石ヨリシカ餘計デナイノニ、米價ガ頓ニ下落シタ、然ルニ千万乃至一千万石ノ米ガ增收サレタナレバ、果シテ米價ガ保テラアラウカ、私ハ政府ハ折角此案ヲ出シテ却テ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フコトニナリハシナイカト思フノデス、其結果益米價ガ下落シテ農民ヲ窮境ニ陥ラシムル恐レガアリハシナイカ、其邊ニ付キ政府委員ノ御考ハ如何デアルカ、モウ一ハ斯ノ如ク開墾整スルナレバ、既ニ是マデ田地ニナッテ居ッテ、サウシテ排水不良ノためニ年々歲々米ノ取レヌトコロノ土地ガ茲ニ三十八万町歩アル、是等ハ年々一度ハ必ラス稻作ハスルノデアル、ソレガ七八月ノ頃ニナッテ一朝雨ガ降リ續クトスルト半作カ三分ノ一シカ取レルコトニナル、若シ此三十八万町歩ノ田地ガ完全ニ收穫ガ出來ルコトニナレバ、此ヤウナ土地ノ土壤ハ肥沃デアルガ是ガ平均三三石ノ米ヲ取ルトスルト一萬石以上取レテ、今日ノ價格デ一億圓以上デアル、斯ウ云フモノニ對シテ適當ナル設備ヲシタナレバ全部水害ヲ免ル、コトガ出來ナクモ大部分水害ヲ免ル、モノ

トシテ、年々幾千万圓ト云フ利益ヲ得ルコトニナルデアリマス、此耕地ニ對スル排水ノ設備ニ付テハ如何ナル考ヲ持ッテ居ラル、カ、私ハ寧ロ斯ウ云フモノヲ先キニ完全ニシテ其上此耕地整理ナドヲヤッタ方ガ宜カラウト思フ、此三點ニ付テ政府ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 御答致シマス、少シ數字ハ違ッテ居リマスガ、要スルニ開墾ト云フモ推定ニ過ギナイガ、日本全體北海道モ包括シテ日本全體カラ云ヘバ百万町歩カラノ開墾地ガアル、其幾部分水田モ出來ルガ、大部分畑地トシテモ或ハ陸稻ヲ作ルコトデアラウト云フ見込ヲ申シマス、サウ内地ノ隅ヲイジッテ居ルヨリハ他ノ朝鮮ナリ或ハ臺灣ナリニ手ヲ付ケタ方ガ宜カラウデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、其見様ニ依ッテ無論朝鮮ノ開拓モ大事デアルシ、臺灣ノ經營モ必要デアルシ、又北海道ニモ大ナル荒蕪地デ非常ニ多イカラ、各方面ニ向ッテ日本ノ農業ノ進歩ニ力ヲ盡サナケレバナラヌト思ヒマスガ、併シ内地ニ於テモ斯ウ云フ餘地ガアルナレバ、餘リ費用ヲ掛ケヌデ開拓等モ出來ルナラバト云フコトヲ推定シテ申シタノデアリマス、成程勞力モ足ラヌトコロモゴザイマスガ追々人口ガ殖エテ行クシ、又今日日本ノ狀態カラ云フ農產物ノ一部、即チ常食品ノ米トカ小麦トカ云フノハ輸入ガ殖エテ來テ居リマスカラ、從ッテ常食品タルベキモノニ對シ日本ニ於テ餘地ノアルトコロガアレバ、之ヲ耕作スル必要モアリマスノデ、追々人口モ殖エテ農作勞働者モ追々殖エルト云フ見込モ著イテ居リマスノデ敢テ差支ヘモアルマイト思ヒマス、又一朝二千万石增收スルト云フコトニナルト、供給過剰デ困ルト云フコトデアリマスガ、年々歲々方針ヲ定メテ行ッタナラバ殆ド日本人ガ常食ニ必要ナルダケハ内地デ供給ガ出來ナイコトハナイト云フコトヲ土臺ニシテ申上ゲマス、デアリマス、從ッテ若シ供給過剰ナレバ米價ガ下落シテ困ルト云フトキハ、耕作ヲ縮メルト云フノガ經濟自然ノ原則デアリマスガ、其時ノ程度ニ依ッテ又如何ヤウニモ出來マセウト思ヒマス、耕地整理開墾等ニシテモ將來三十箇年ニ斯ウ云フ風ニスルト云フ計畫ヲ立デ、モ、ナカ／＼其通りニ行ケルカドウカ知レヌガ、大體ノ見込デ斯ウ云フ計畫ヲ立デ、斯ウ云フ筆法ニ行ケルト云フコトヲ御參考マデニ申シタニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ排水工事デアリマスガ、是モ至極大切デ、濕田ヲ乾田ニ換ヘルト云フコトヲヤレバ增收モ出來マスカラ、政府モ此土地ノ改良ニ付テハ將來進メテ行キタイ考ヲ有シテ居リマス、耕地整理トシテモ第一條ノ規定ノ如ク是ニ伴フ灌漑排水ノ工事は、是ハ大變重キヲ置イテ居ル積リデアリマス、耕地ノ整理ノ事業ヲヤルト云フノニ伴フテ、灌漑排水ヲ共ニヤッテ居ル例ガ非常ニ多イ、單純ニ排水或ハ灌漑ノコトヲヤルト云フノハ、現行ノ規定デハ先ヅ水利組合ノ事業カ或ハ個人ノ普通ノ經營ニ任セテ居ルノデ、此中ニハ包含ハシ惡イノデゴザイマスケレドモ、併シ他ノ一部ノコトヲシテ及ビ之ニ伴ウテ灌漑排水ヲ行フト云フコトデアレバ、ヤハリ此中デヤルコトニナッテ居リマス、是マデヤッテ居リマス耕地整理デ灌漑排水ヲ包含シテヤッテ居ル例ハ非常ニ多イデス、ダカラ大部分是ニ這入ルトハ出來ルダラウト思ヒマスガ、若シドウシテモ是ニ這入ラヌト云フ部分ハ、他ノ方法ヲ以テ出來ルダケ獎勵ノ方法ヲ執ルノガ必要デアラウト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○青柳信五郎君 チョット御尋申シマスガ、府縣ニ於テ此耕地整理ノ基本調査ト云フコトヲナシ居ル者ガアルト思ヒマス、此基本調査ト云フコトハ政府ハヤハリ認メテナサセテ居

ラレルモノデアラウト思フ、詰リ勝手次第第二整理地ノ設計ヲヤルト或ハ水路ノ附ケガ惡イ
トカ、或ハ鄰接ノ關係上宜クノイトカ云フガタメニ、府縣ニ於テ基本調査ト云フモノヲ爲
シテ、サウシテ後來此方針ヲ以テ道路ノ整理ヲヤルト云フヤウニシテ、基本調査ト云フコト
ヲヤシテ居ル、此基本調査ト云フモノガ府縣ニ於テ何箇所之ヲ爲シテ居ルノデアルカ、ツ
レデ基本調査ト云フモノガ必要デアラナラバ、此基本調査ニ依ッテ定メテ道路水路ト云
フモノハ、今度整理設計ヲ爲ス場合ニハ、必ズツレヲ爲サシムルヤウニシナケレバ基本調査ト
云フモノハ金ヲ掛ケテヤシテ何ニモナラナイコトニナツテ、水利組合デ是ハ斯ウ道ヲ附ケルト
カ云ツデヤルコトニスルト、基本調査ハ全ク無効ニ歸シテシマッタラウト思フ、此法律ヲ見
マスト云フト、基本調査ニ對シテモ少シモ効力ガナイト思フ、サウスルトツマリ基本調査
ト云フモノハ全ク無用ニ歸シテシマウダラウト思ヒマスガ、政府ハ果シテ此基本調査ト云
フモノヲ成ルベクナサシムル考デアルカ、又縣ニ何箇所位之ヲヤシテ居ルノデアルカ、ツレ
バ同ツデ置キタイ、若シ果シテ政府ガ基本調査ヲナサシムルト云フコトデアレバ、此基本調査
デ定メタモノヲ成ルベク施行者ニ阻害ヲ與ヘナイヤウナ方法ヲ此中ニ加ヘル要ガアラウト思
フ、モウ一ツハ此整理方法ニ於テハ隨分此字ノ組替ト云フコトニ、甚ダ手數ガ掛ツテ困ル場
合ガアル、此法ニ依リマスと字ノ變更ニ對シテハ登錄稅ヲ免除スルト云フコトハ、一段ノ進
歩ト私共ハ認メテ居ル、實際施行者ニナリマスと字ト字トノ境ヲ、斯ウ組替ヘレバ大變
境界上能クナルト云フコト、字ノ地域ヲ變ヘル場合ガ始終アリマス、其場合ニ於テハ常ニ
二十六年アタリデゴザイマシタカ、内務省ノ訓令ガアツテ町村會ノ決議ヲ經テ地方長官
ノ認可ヲ經ナケレバナラヌト云フコトニナツテ居ツテ、斯ウ云フ唯組合員ノ異議モナケレ
バ異議モナイケレドモ、其制裁デ以テ餘計ナ手數ヲ掛ケテ居リマス、斯ノ如キモノモヤハ
リ此整理法ニ依ッテ、例ヘバ施行認可ヲ受クル場合ニ於テ、ツレヲ地方長官ガ認メテ斯
ウシテモ宜シト云フコトナラバ其煩雜ノ手數ヲ省クト云フコトガ大變便宜デアラウト思
ヒマスガ、是ニ對シテ政府ノ意見ハドウデアルカ、ヤハリ從來ノ通り僅カノ組替ヲスルニ此煩
雜ノ手續ヲヤラセテ置ク必要ガアルカ、此法文ニ於テツレ等ノコトヲ簡易ニスルナラバ、成
ルベク施行者ニ便宜ヲ與ヘルヤウニスルノガ當然デアラウト思フ、其邊ニ關スル政府ノ
御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(下岡忠治君) 唯今ノ基本調査ノ御尋デアリマスガ、是ハ唯今御話モ
アツタ通り、大體ニ互ツテ整理ヲスル際ニ支障ノナイヤウニスルト云フタメニ起ツテ居ルノデ
アリマスガ、從ッテ其基本調査ヲヤルカラ、直ク後ヲ續イテ施行ノ設計ヲヤルト云フコトニ
スルノガ一番宜イノデアリマス、併ナガラ一方デ基本調査ヲヤシテ置イテモ愈々其事業ヲヤ
ルトナレバ經費ノ關係モアルシ、各種ノ狀況カラ起ルコトデアリマスカラ、是ヲ始終並行シ
テヤルト云フコトハドウモ事實ニ於テ行ハレ惡イ、ツレデハ基本調査ヲヤラヌデモ宜イカト
云フ御議論ガ起ルカ知ラヌガ、基本調査ト云フモノハ客觀的ノ調ガ多イノデスカラ、從ッ
テ費用ト云フモノモ非常ニ餘計要ルト云フモノデモナシ、既ニ現在ニ於キマシテモ基本調
査ガ濟シテ居ルノハ、百十二万九千歩ニ涉ツテ居ルノデス、豫定面積ガ總計ニ於テ百
六十万町歩ト云フノデスカラ餘程大ナル部分ニ涉ツテヤシテ居ルノデスガ、基本調査ト云
フモノガ容易ナラヌモノナラバ、ツレハ基本調査ト云フコトヲ急ギヤル必要ハナカラウト思
ヒマスケレドモ、各縣ニ於テ耕地整理ヲスルコトノ急務ヲ認メテ居ルモノデアルカラ、從ッテ

其事業ヲヤラセルト云フコトニ付テハ、先以テ基本調査ト云フコトヲヤシテ獎勵シテ置カ
ケレバナラヌ、例ヘバ林業ナドニシテモヤハリサウ云フ筆法デ根本ニ於テ施設ノ計畫ヲ立
テ、サウシテ土臺ヲ拵ヘテ徐々ニ殖林ノ事業ニ掛ルト云フ順序ニナツテ居リマス、大體ニ於
テ餘リ費用ヲ掛ケズシテ、大體ノ基本調査ヲシテ置ク方ガ整理事業ヲ獎勵スルニ都合ガ
好イノデス、ツレカラ第二ノ御問ノ字ノ點デスガ、是ハ政府ノ方デモ隨分億劫ノ手續ダト
思ツテ居リマス、所デ大字若クハ字ト云フコトヲ變ヘルト云フコトハ、此内務省ノ地方制
度ト云ウ上カラ大分重ク見テ居ル、免ニ角一定ノ仕來リトシテ來テ居ルトコロノ、名
稱ノ區域ヲ變更スルト云フコトハ、サウ輕キシクスルト云フコトニナルト、行政區劃ヲ紊
原因ニナルノデ、是ニ付テハ鄭重ナル手續ニ依テヤシテ居ルノデアリマスカラ、成ルベク簡
易ナル方法ヲ執リタイト云フ考デアアリマスケレドモ、現行法ノ内務省ノ訓令ノ存在シテ
居ル間ハ據所ナイト思ツテ居リマス

○青柳信五郎君 ツレデハ其基本調査ト云フコトハ彼ノ今ノ植林ナドノ基本調査ト
違ツテ、此基本調査ハ例ヘバ通路ハ斯ノ如クズツト往還ニサセルトカ水路ハ斯ク通スト
カ、所謂大設計ノ先ツ通路トカ水路トカノ計畫ヲ立テナケレバナラヌ、サウスルト
基本調査デ南北ニ道路ヲ付ケヤウ、所謂間道間水路ト云フヤウナモノヲ附ケヤウト云
フマデハ施行者ハ勝手次第第二東西ニ之ヲ附ケルト云フコトニナリマスレバ、基本調査ハ
全ク必要ガナイモノニナツデシマフ、植林ナドニ致シマスレバ、其基本調査ノ目的ガ出來
ナイカラ何デモ宜イケレドモ、ツレ等ノコトモ間道間水路ノ如キハ大體ニ於テ其方針ヲ定
メテ置クモノデアル、ツレヲ打壞シテ勝手自由ニ基本調査ヲ定メ、東西ニヤツテシマフト
云フコトニナレバ、打壞ハサレテモ基本調査ヲシタ府縣ハ、之ニ制裁ヲ加ヘルコトガ出來
ナイサウスレバ折角ノ基本調査モ畫餅ニ歸シテシマフ、政府モ亦基本調査ヲ獎勵シテナ
シメル要ハナイコトニナツデシマイハセナイカト思フ、政府ハ基本調査ヲ獎勵シテ基本調
査ヲ爲サシメル見込ミカ、基本調査ト云フモノハ其府縣ガ勝手ニヤリタイ處ハヤルガ宜イ、
ヤリタクナイ處ハヤラヌデモ宜イト云フ御見込カ、政府ガ基本調査ニ對スルトコロノ所見
ヲ承リタイ、ツレト基本調査ハ何十町歩各府縣ガ爲シテ居ルカモ承リタイ

○政府委員(下岡忠治君) 基本調査ヲ拵ヘテモ、後デ耕地整理施行者ガ取毀ハシ
タリ堤塘ヲ横ニシタヤウナラバ、基本ガ立タヌト云フ御尋デアリマスガ、設計ノ認可ヲ致
シマス際ニ、基本調査ニ準ジテ之ヲ見テ是ハ往ケナイ、道路ヲ附ケルハ往ケナイ、之ニ
堤塘ヲ引クハ往ケナイト云フコト、擔當ノ取締ガ出來マスカラ基本調査ト全然矛盾ノ
設計ヲ認可スルコトニハナルマイト思ヒマス、ヤハリ基本調査ハドウシテモヤツテ置キマセ
ト、唯今御話ノヤウニ或ハ道路ヲ附ケヤウ、鐵道ヲ附ケヤウ、或ハ水利ノ關係デ此畑地
ハ田地ニ出來ル溜池ヲ拵ヘルト云フコトヲ初メニ見テ置キマセト、認可ヲスル際ニ大變
ナ行違ヒガ起リマスカラ、自ラ基本調査ハドウシテモヤツテ置カナケレバナリマセガ、基本
調査ニ非常ニ金ヲ掛ケテ綿密ノモノヲ拵ヘ、又設計調査ヲモウ一遍致サナケレバナリマセ
ヌ、一重ノ手間ハアリ得ルコトデスカラ、基本調査ハ細カニヤラヌデ大體ニ涉ツタモノニスルト
云フ立テ前カラ宜カラウト云フ考ヲ有シテ居マス、現在ヤツテ居マスノハ各府縣殆トヤツテ居
ラヌトコロハナイノデ此基本調査ヲ全然ヤツテ居ラヌノハ山口縣デケデ、其他ハ相當ニヤツ
テ唯今申シマス通り百二十万九千町歩大體ノ調査ハ出來テ居リマス

○青柳信五郎君 サウスルト基本調査ニ背イタコトハヤラナイト云フコトハ、認可ヲ經ル前ニ各地方長官が其背イタ場合ニハ認可ヲシナイ、ソレヲ取締リ著ケルノデスカ

○政府委員(下岡忠治君) 左様

○福井準造君 法文ニハアリマセウガ、自分達が經驗シタコトニ依リマス、耕地整理ノ發企人ハ發企認可ノ際ニ當テ、整理地區ノ上ノ村又ハ下ノ村ノ同意ヲ經ナイト農商務省ハ認可シナイト云フヤウナ内訓デモアリマスカ、ソレトモサウ云フ法文デモアリマスカ、サウ云フコトヲ承知シテ強ヒテ認可ヲ取ルト云フ傾ガアッテ、一ツ妙ナ話ガアリマシテ、私ノ實際ヤッタコトニ付テ云ヘバ、私ノ村ニ一ツ隣村ガアッテ、又其隣ハ海デ其村ハ私ノ村ハ下流ニナッテ居ッテ全村畑ノミデ田ハ一枚モナイ村デ、サウシテ其畑モ少シ高クナッテ居ルカラ村ノ界ヲ水ガ流レテ海ニ入ル村デアルカラ、水利上ノ關係ガ少シモナイ、地圖ノ上デハ下流ニナッテ居マスカ、私共ノ村ノ水ヲ其村ニ少シモ供給スルコトニハナラヌカラ害ヲ受ケルモノデハナイ、斯ウ云フモノニハ同意ハ要ラヌト思フタラ、縣廳ガ形式上同意ヲ得タラ宜カラウト云ウデ、此時ノ同意ヲ求メタコロガ、此村ハ利害ノ關係ガナイカラ旨判ヲ捺シテ寄越シタカラ宜カッタガ、若シ此村ガ無理ニ關係ヲ附ケラレト、折角仕掛ケタ工事が頓挫スルコトニナル虞ガアリマス、斯ウ云フ例ハ外ニモアリマセウガ、餘リ法文ノ形式ニ拘泥シテ餘計ナ手數ヲ掛ケルコトニ陷ラウト思ヒマスカ、ヤハリ此等モドノヤウナ町村デモ必ズ同意ヲ經ナケレバ、耕地整理ノ認可ヲ得ルコトハ出來ナイカ、ソレトモソレ等ハドウ云フコトニナッテ居マスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(下岡忠治君) 上ノ村下ノ村ト云フノハ利害關係ノアルトコロハ同意ヲ經ナイト後デ苦情ガ起テ困ルノ出來テ居マスケレドモ、併シ利害關係ガナイモノハ同意ヲ經ルニ及バヌト思ヒマス、唯今ノ地方長官ノ取計ハ稍規則ニ拘泥シ過ギタヤウナ感シモアリマスカ、殊ニ此改正案ナドハソレニ注意シテ同意ヲ經ルコトヲ原則トシテ、若シ同意ヲ經ルコトガ出來ナケレバ、其事由ヲ書イテ設計書ニ附ケテ地方長官ノ認可ヲ得ル、其事由ガ相當ト見レバ同意ガナクとも認可ヲシマセウト云フ立前ニシテ居リマス

○福井準造君 地方長官ノヤリヤウガ惡カッタデスカ

○政府委員(下岡忠治君) サウダラウト思ヒマス

○齋藤宇一郎君 農商務省デ耕地整理ノ認可ヲスルニ於テノ標準ハドノ邊ニアルカ、費用ノ點ニ付テ見マシテモ高キハ福岡縣一段歩平均費用ガ四十八圓何某、卑キハ埼玉縣ノ七圓六十一錢四厘、是ハ何レ外ニ其地區ニ於テ様々ノ關係ガアッテ、斯ウナッテ居マセウガ、果シテ四十八圓ノ何某ト云フ費用ヲ投ズルトシテ十分ナル利益ガアルモノデアリマセウカ、是ハ政府ニ於テ段々獎勵ヲ加ヘル場合ニ於テ、ドノ位ノ金ヲ掛ケテモ宜イデアラウト云フ大體ノ御見込ガアラウト思フ、吾々が將來之ヲ計畫スル上ニ於テ、程度ト云フコトニ付テ餘程迷フテ居ル點モアル、又ヤリ方ニ依ッテハ隨分山間僻地マデモヤレル、即チ計畫ヲ種々難多ノ面積モヤラセナイコトモナイ、ソレ等ニ付テハ農商務省ハドウ云フ風ニ標準ヲ立テ、此認可スル場合ニ於テ許否ヲ決セラルノデアルカ、其標準ヲ一ツ伺ヒタイと思ヒマス、ソレカラ第二ニハ先刻河野サンカラ御質問ニナッタ二十九條ノ町村、又ハ水利組合ニ引繼グト云フコトニ付テ尙私ハ進シテ置キタイと思ヒマス、町村若クハ水利組合ニ此耕地整理事業ノ最後ヲ引繼グ場合ニ於テドウ云フ形ニナッテ引

繼グノデアルカ、此耕地整理ハ數町村ニ亘ッテ居ル場合ガアル、水利組合モ其通りデアール、又一町村内ノ一部ノコトモアル、斯ウ云フ場合ニナルト其仕事ノ尻ヲ町村ガ引受ケル時分ニドウ云フヤウナ形ニナッテ引受ケルノデアリマスカ、數町村ノ場合ニ於テハドノ町村ガ引受ケルノデアルカ、ソレ等ニ付テノ御答辯ヲ得タイと思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 此御迴シシテ置キマシ表ノ中デ耕地整理ノ費用ノ非常ニ高マツタ所ト高マツタ所トガゴザイマスカ、是ハチヨット昨日モ申上ゲテ置イタと思ヒマシタガ、非常ニ高イ所ハ單純ナ耕地整理以外ニ附加ハッタ仕事ガ非常ニ多イノデス、例ヘバ大阪ノ四十三圓六十二錢ト云フノハ河川工事中ニ入ッテ居ル、ソレカラ福岡縣ノ四十八圓八十六錢七厘ト云フノハ是レハ開墾ヤラ沼池等ガ入ッテ居ッテ大變イロ／＼進シタ事ヲヤッテ居ルデス、和歌山ノ四十七圓二十五錢モ暗渠排水ガ非常ニ金ガ掛ル事業デアッタト云フコトデアリマス、長野縣ノ三十四圓九十五錢ト云フノモ暗渠排水其他附帶工事ガイロ／＼アッタト聞イテ居リマス、要スルニ此處ニ掲ゲテ居リマスノデ、三十圓ノ四十圓ノト云フ金ノ掛ッテ居ルノハ、單純ナ耕地整理ト云フ以外ニ種々ノ工事設備ガ之ニ伴ウテ出來テ居ルノガ多イデス、即チ平均ガ十四圓二十六錢七厘ト出デ居ルノハ、是ハ耕地整理ヲ標準ノ積リデハナイノデス、大體ニ於キマスルト昨日申上ゲタイ思ヒマスカ、先ヅ普通ノ耕地整理ヲヤルナラ十圓内外、易イ所ガ五圓、少シク込入ッタ所ナラ十二圓位ト云フ限度デ出來テ居ルノデス、是トモドモ確トシタ標準ハ申ス譯ニ往キマセウガ、要スルニ政府ノ見ル所デハ成ルベク雜費ヲ省ク、種々雜用ノ經費ガ要ルコトガ多イヤウデアルガ、是は何處マデモ儉約シテ成ルベク仕事ヲスル上ニ付テモイロ／＼ナ事務上ノコトニ付テモ、簡易ナ遣方ヲシテ雜用ニ使フ費用ヲ減シテ、工事其物ニ要スル費用ニ付テハ是ハ吝嗇ナコトハ出來マセヌカラ、サウ云フ立前デヤルナラバ、十圓内外ノトコロ大抵ノトコロハ出來ルデアラウ、ソレハ沼池ヲ造ルトカ、或ハ大ナル機械ヲ据ヘテ排水工事をヤルト云フヤウナコトニナレバ、ソレハ餘程費用ガ嵩リマスケレドモ、ソレハ特別ノ費用ト見テ宜カラウト云フ考ヲ以テ居リマス、ソレカラ二十九條ニ付テノ御尋デアリマスカ、是ハ其市町村ナラ市町村、水利組合ナラ水利組合ニ引繼グニ付テハドウ云フヤリ方ヲスルカト云フ御尋デアリマスカ、大體ノ見込デハ耕地整理組合ヲ設ケタコロデ、借金ヲシテ居ル以上ハ借金ノ片付クマデハ水利組合ナリ市町村ニ引繼グコトハ出來マイト思マス、愈借金ガ濟ンデ公ノ營造物ノ性質ノモノナラバ、其所ヲ管轄シテ居ルコトノ町村ナリ水利組合ニ渡シタ宜カラウト云フノデ、イロ／＼跨ッタ場合ハ二ツニ分ケルトカ、三ツニ分ケルトカ皆寄セテヤルコトモ出來ルと思ヒマスカ、結局ソレハ命令ノ定ムルトコロニ依ルト云フノデ、細カイトコロハ悉皆極メテ其上引渡スト云コトニシタ宜カラウト云フ積リニナッテ居リマス、何時マデモ道路ナリ、抵當ナラ抵當ノ維持ノタメニ耕地整理組合ヲ殘シテ置クコトハ、公共團體ノ仕事ノ上カラ申シテ兩方ノ間ニ重複ノモノガ出來ルコトニナルカラ、是ハドウシシテモ市町村ナリ水利組合ニ先キハ讓渡スベキコトニスルノガ、順序デアアル、特別ノ事情アルモノヲ除クノ外ハサウスルト云フ考デ出來テ來テ居リマス

○植場平君 私ハ逐條ニ涉ツタ時分ニ質問ヲシタイと思ヒマシタガ、三十九條ノ問題ガ出マシタカラ序ナガラ伺ヒマスカ、三十九條ニ依リマス今齋藤君ノ御尋ニ對シテ下岡

局長ノ御答ヲ引繼ノ手續ハ明瞭ニナリマシタガ、是ハ思ヒマスノニ事業ノ終タ後ニ引繼グコトデアラウト思ヒマス、私此處ニ疑ガゴザイマスノハ、水利組合ノ事業ノ終リマシタ後ニ引繼グコト云フコトニナルナラバ、水利組合ナルモノガ此耕地整理ノ事業ヲ起スト云フコトモ御許シニナルノダラウト考ヘマスガ、サウ云フ場合ハ此水利組合會ナルモノガ決議シテ稟請ヲ致シマシタナラバ、ソレデ足ルノデアルカ、サウ云フコトデアルト少シ法文ガ不備デアルヤウニ考ヘル、其邊ハ如何ナ御考デセウカ、水利組合ニシテモ今日マデ耕地整理ノ事業ヲナシテ居ルト云フコトハ往々アルノデアリマス、アルガ此耕地整理組合法ニサウ云フコトノ明文ノナイタメニ、補助ノ恩惠ヲ受ケルト云フコトガ出來ナイコトニナツテ居ル、私ハサウ云フ耕地整理ノ事業ヲナスコト云フコトニナル即チ水利組合ナルモノガ用水路ヲ變更スル、惡水路ヲ變更スル、其他地形ヲ改ムルト云フヤウナ仕事ハ往々ヤツテ居ルノデアル、是即チ耕地整理デアル、斯フ云フモノニ其補助ノ恩惠ヲ與ヘテ居ラヌト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思ウテ居ルノデアリマスガ、其邊ニ付イテハ當局ノ御考ハ如何デアラウカ、此場合ニ伺フデ置ク方ガ便利デアラウト思ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 此耕地整理組合ト水利組合トハ立テ方ガ違フテ居ルモノデスカラ、ドウモソレヲ同一ニスルト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス、何故ニ參ラヌト申シマスルト耕地整理組合ト云フモノヲ設ケルニ付キマシテモ、例ヘバ三分ノ二以上ノ同意ト云フ條件ガ要ルシ、其他其後總會ナドヲ開クニ付キマシテモ、各種ノ件ニ於キマシテ土地所有者ガ皆寄ツテ來テ、其總會ニ依ツテ決定スルト云フ立前ニナツテ居リマスカラ、水利組合ト云フモノハ特別ノ議員ヲ組織シテ、或ハ十人カ二十人カノ議員ニ依ツテ總テノ事が極ツテ、公共團體トシテノ事業ヲ遂行シテ行クコトニナツテ居リマスカラ、耕地整理組合ノ如クニ個々ノ人ガ皆寄ツテ相談ヲシテ極メルト云フ立前トハ少シ違フテ居リマス、成程似寄ツテ點ヲアル事業モゴザイマス、餘程似寄ツテ點モゴザイマスケレドモ、併ナガラ耕地整理組合ノ組織ノ工合ト、水利組合ノ組織ノ工合ガ全ク違ヒマスカラ、之ヲ一ツノ中ニ入レルコトハ却テ錯綜シテ仕事ヲアル上ニ付テモ、非常ニ混雜ヲ來スト云フヤウナ憂モアルシ、ヤハリ耕地整理ノ事業ト云フコトデアレバ、此地形ニ依ツテヤルシ、單純ニ水利事業ヲ起スト云フコトニ付テ、水利組合ノ規程ニ依ルベキモノハアレニ依ルコトニシマセヌト、親類同志ノ事情ハ兩方アリマスケレドモ、根本ノ立前ト違フテ居ルノデ、據所ナクニツニ分レルコトニシテ居リマス、ソレカラ補助費ノコトデアリマスガ、補助費ハ五十一万何程ト補助費ノ算ニ計上シテアリヌノハ、耕地整理及土地改良ニ關スル經費ニ對スル補助トアリマスカラシテ、必ズシモ耕地整理事業デナケレバナラヌト云フ意味デハナイノデス、アレノ運用如何ニ依ルナレバ、他ノ事業ニ對シテモ土地改良ト云フ仕事デアル以上ハ、補助スルコトガ出來ナイ譯モナイ、所ガ現在經費ガ餘リ餘計ナイカラ、何モ彼モ少シツ、ノ補助ヲ出スト云フコトハイカニヤウニナツテ居ルカラ、今日ノトコロデハ、先ヅ耕地整理事業ト云フモノニ限ラレテ居ルヤウニナツテ居リマス、ケレドモ補助ノ目的ト云フモノハ耕地整理ニ限ラレテ居ル譯デハナイ、耕地整理ノ外土地改良ト云フコトモ必要デアルカラ、他日非常ナ經費デモ要求スルコトガ出來得ル機會ニ於テハ補助ノ範圍ヲ擴張スルト云フコトモ出來ナイ譯デハゴザイマセヌ

○荒川五郎君 段々ノ御質問デ早ヤ濟ミタイト思フノデアリマスガ、此施行規則竝ニ第五類第三十五號 耕地整理法改正法律案委員會議錄 第三回 明治四十二年三月十日

此登記ノ特例ニ關スル勅令、其他命令ナント云フモノハ出來テ居リマスナラバ參考ニ拜見シタイノデスガ、是ガ第一、ソレカラ此組合ハ民法ノ組合ノ特例ト見ル譯デアラウト思フ、サウスルト此組合規定ニナイモノハ民法ノ規定ヲ適用スルノデアリマスガ、ドウカ、是ガ第二、ソレカラ登記デアリマス、此登記ハ、是マデドウナツテ居リマシタカ、是ガ此改正ト共ニ登記上ノ關係竝ニ收入ニドレダケノ影響ヲ來シマスカ、此三點ヲ伺ヒマス

○政府委員(下岡忠治君) 施行勅令ハ未ダ出來テ居リマセヌ、大體ノ事情ニ付テハ此各條ニ付キマシテドウ云フコトヲ規定スル積リデアアルカト云フコトハ、唯今申上ゲタイト思フテ居リマスルガ、尤モ此登記ノ勅令ト云フモノハ現在ゴザイマスノト餘リ變リハナイ積リデアリマス、他ノ各條ノ施行命令ト云フモノハ、ソコマデ準備ガ出來テ居ラヌノハ甚ダ遺憾ト思フテ居リマス、未ダソコマデ出來テ居リマセヌ、ソレカラ耕地整理組合ノ民法上ノ組合トノ關係如何ト云フコトデアリマスルガ、無論私法人デゴザイマスカラ權利義務ノ關係ニ於テハ、民法ノ規定ニ依ル場合ガアルデアラウト思ヒマス、私法人トシテ、規定ノ適用ヲ受ケル、民法ノ適用ヲ受ケルト云フコトハ申サレルダラウト思ヒマス、ソレカラモウ一ツノコトハ……

○荒川五郎君 今ノハサウスルト、或ハ理事、監事、ト云フヤウナモノガ出來ルノデスカ
○政府委員(下岡忠治君) ソレハ特別ノ規定ノアルモノデ、此特別ノ規定ニ依ツテ行ッテ居ル

○荒川五郎君 是ハハ評議員ガ監査ヲスルト云フコトガアル、ソレハ即チ直チニ監事ニナルト云フコトガ此法律上ノ解釋デアリマスガ、其他民法上ニ於ケル規定ニ於テ、總テ法人ノヤウナコトヲシナケレバナラヌト云フコトハ澤山アルノデアリマス、ソレ等ハ如何デアリマスカ、ソレカラ第三ハ登記ノコトデアリマス

○政府委員(下岡忠治君) 今ノ點ハ少シク私ノ言ハヤウガ惡ウゴザイマシタガ、民法上ノ規定ニ依ルト云フノハ、私法人トシテ民法上ノ權利義務ノ關係ニ於テハ、民法ノ規定ニ依ルト申シタシテ、併シ民法ノ義務トシテ其規定ノ適用ヲスルト云フ譯デアリマセヌ、組合ノ規定ハ此規定ニ依ツテ支配ヲ受ケル、民法上ノ組合ノ中ニハ入ツテ居ラヌトコロノモノデアリマス、ソレカラ登記ノ費用ノ點デゴザイマスカ

○荒川五郎君 サウデゴザイマス、登記ガ之ニ依ツテドウ變ツテ居ルカ、其手續費用、ソレカラ又此新法ノタメニ、登記ノタメニ、收入ニハドウ云フ關係ガアリマスカト云フコトヲ……

○政府委員(下岡忠治君) 登記ハ前ニデモ略スル規定ガゴザイマシタガ、斯ウ云フコトハ尙登錄稅ノ免除ヲ受ケル規定モアル、デ金額ハ幾ラト云フコトハ未ダ調ベテ居リマセヌカラ、ソレニ依ツテ登錄料ガ幾ラ減ル、登記手續ガドレダケ減ズルト云フ調ハ出來テ居リマセヌ、併シ尙調ベテ出來得ル限り御參考ニ申上ゲルコトニ致シマス

○加藤正英君 私モソレニ就テ質問シタイ、法人登記ニ對シテハ登記料ハ無料デアルトカ取ルトカ、ソコマ明カニシテ置カナイ困ル、大字會ノ登記料トカ、町村會ノ登記料トカ云フヤウナモノハドウナルカ、ソコマ明カニシテ置カヌト困リマスガ、如何デス

○政府委員(下岡忠治君) 法人登記ハ法人トシテハ登記ヲシテモ登錄料ヲ取ラレルト云フコトハナイ、普通ノ私法ノ登記トシテ特別ノ取計ヒヲ受ケルト云フノデアリマス

○加藤正英君 注文ニ現サナケレバ……

○委員長(齋藤珪次君) 御諮リシマスガ、午後カラ引續イテ逐條ノ質問ヲスル積リデアリマシタゴロガ、下岡局長ハ他ノ委員會デドウシテモツレニ出席シナケレバナラヌト云フノデ、チヨット差支ガ起ッタデアリマス、所デ此方ノ委員ノ御方ノ中ニ、實ハ此法規上ニ規定シテアル以外ニ於テ、取扱上ニ就テ親シク當局ト能ク御話合ヲシテ見タイト云フ希望ガ昨日以來出テ居ルデアリマスガ、詰リ此御話合ハ明日ニシヤウト思ッテ居ッタノデスガ、此局長ガ御差支ニナル關係上カラ考ヘ、又逐條ノ質問ヲナサル、ニ於テ御話合ヲナサレバソレダケ御話ガ濟ムノダラウト思フノデスカラ、事實ニ就テ、事業上ニ就テ、最モ詳シイトコロノ技術家ノ方が居ラレルサウデスカラ、其御方ト午後一時ヨリシテ速記ヲ廢シテ懇談會ヲナスッテ戴キタイ、サウシテ其中局長ガ時間ガ空イタラ逐條ノ質問ヲ始めルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ

(「宜シウゴザイマス」又「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(齋藤珪次君) サウ云フコトニ午後一時カラハ懇談會ニ致シマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、ソレデハコ、デ一段落ヲ告ゲマシテ休憩致シマス

午後零時十九分散會